

令和7年度 神奈川県フォークリフト安全運転競技大会

運転競技 運転操作手順

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項	
1	乗 車	〔注：乗車前のフォークリフトの周囲及び下部の安全確認は省略する〕	各 工 程 共 通 事 項	1 前後進レバーを入れる前に駐車ブレーキを外さない
		1 運転席『左横』に進み、両足を揃えて立つ		2 前後進レバーを操作するときは、必ずブレーキペダルを踏込む
		2 左手はヘッドガードの柱（握手）をにぎり、右手は座席の背もたれをにぎる		3 駐車ブレーキの外し忘れをしない
		3 左足をステップ上に乗せて乗車する		4 走行中は左手でハンドルノブを握っていること
		4 着席後の座席を調整する		5 走行中右手をレバーの上に乗せない（膝の上に置いていること）
		5 後写鏡の写影を調整する		6 発進及び曲がり角進行時に進行方向（左右を含む）の安全確認をする（前後進とも）
		6 シートベルトを着用する		7 フェンスとの接触、コースから脱輪をしない
		7 各種レバーが中立位置にあるかを確認する		8 空フカシ、エンスト、誤動作、前後進のやり直しをしない
		8 駐車ブレーキがかかっているかを確認する		9 急発進をしない 急ブレーキをかけない
		9 エンジンキーを始動スイッチに差込む		10 コース上ではインチングペダルは使わない。
		10 ブレーキペダルを踏込む		11 方向指示器は省略してもよい
		11 エンジンキーを「START」位置まで回してエンジンを稼働させる		
2	発 進	1 フォークをリフトする（地上5～10cm） （注）計測開始	1	リフトより先にティルトしない
		2 マストを後方一杯にティルトする（フォークの 高さは地上15～20cm）	2	マストを後ろ一杯にティルトする
		3 前方及び側面の左右の安全を確認する	3	フォークの高さが高過ぎないか （地上20cm以上）
		4 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外す	4	フォークの高さが低過ぎないか （地上15cm以下）
		5 静かに発進する		

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項	
3	①→② 走 行	架 台 ま で の 走 行		
		1 前進で安全走行をする	1	フェンスとの接触注意
		2 架台の手前に来たら、徐行運転をする	2	最徐行
		3 架台上の積み荷パレットの中心線とフォークリフトの中心線を合わせ、ゆっくりと前進する	3	フォークの先端がフォーク先端基準線の内側にあること (20cm 以内)
		4 フォーク先端基準線で停止する	4	積み荷パレットの中心とフォークの左右のずれを少なく (約10cm 以内)
4	積おろし	5 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立にする		
		1 マストを垂直にする	1	荷に対してフォークを直角にする
		2 フォークをパレットの差し込み口に合うようにリフトする	2	マストをティルトしながらリフトしない
		3 前方の安全を確認し、前後進レバーを前進に入れて、駐車ブレーキを外す	3	2段取りをする
		4 静かに前進して、フォークの根元が10～20cm 残るように差し込み停止する	4	フォークを差し込む時パレットをこすらない
		5 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立にする	5	フォークを差し込む時パレットを突かない
		6 静かにリフトして止める。(パレット下面と架台上面の間隔を5～10cm にして止める)	6	架台にフォークリフトを接触させない
		7 安全確認をする(積み荷の安全度、荷崩れ、フォークの位置等)	7	リフト時の高さが高過ぎない (パレット下面と架台面までの間隔を10cm 以上にしない)
		8 後方の左右の安全を確認する	8	荷重のためパレットが下がるが直す必要なし
		9 前後進レバーを後進に入れて、駐車ブレーキを外す	9	パレット下面と架台が接触した状態でフォークリフトを移動させない
		10 静かに後進し、パレット端面と架台の端面が一致する位置にて停止する	10	フォークでパレットをこすったり、パレットを引きずらない
		11 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる	11	フォークを根元まで差し込む
		12 架台上にパレットを置く(フォークは、パレットの差し込み口の間で止める)		
		13 前方の左右の安全を確認する		
		14 前後進レバーを前進に入れて、駐車ブレーキを外す		
		15 パレット端面がフォークの垂直部に接触するまで静かに前進し、停止する		

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項
4	積おろし	16 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる	12 荷をリフトした時は、常に荷の安定を確認する 13 パレット先端面がフォーク先端基準線の内側にあること（20cm 以内）
		17 静かにリフトして止める（パレット下面と架台上面の間隔を 5～10cm にして止める）	
		18 後方の左右の安全を確認して、前後進レバーを後進に入れる	
		19 駐車ブレーキを外し、パレット端面が架台に接触しない位置まで静かに後進し、停止する	
		20 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる	
		21 フォークを降下させる（パレット下面と床面の間隔を 5～10cm にして止める）	
		22 マストを後ろ一杯にティルトする	
5	③→④ 積荷後進走行	停 止 線 A ま で の 走 行	
		1 後方の左右の安全を確認する	
		2 前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外す	
		3 静かに後進し、④の位置で停止する	
		4 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる	
6	⑤より停止線 A まで 積荷前進走行	1 前方の左右の安全を確認する	1 停止時の審査基準の詳細は別紙 4 を参照にすること
		2 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外し、停止線 A まで前進する	2 一旦停止した後に前後の調整走行はおこなわないこと
		3 停止線に近づいたら徐行し、パレット先端が停止線 A 内に納まる位置で一旦停止する	3 ブレーキペダルは踏んでいること
		4 前後進レバーを中立に入れる	4 A における一旦停止時間はおおむね 3 秒程度
7	停止線 A より停止線 C まで 積荷前進走行と積荷後進走行	停 止 線 B ま で の 走 行	
		1 前方の左の安全を確認する	1 停止線 C の内側まで入れる 〔パレットの先端からフェンスまでの距離が離れすぎていないか（20cm 以内）〕
		2 前後進レバーを前進に入れ、停止線 C の内側まで前進して停止する	
		3 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立にいれる	
		4 後方の左右の安全を確認し、前後進レバーを後進に入れて、駐車ブレーキを外し、停止線 B まで後進する	2 B における一旦停止時間はおおむね 3 秒程度

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項
	積 荷 後 進 走 行	5 停止線に近づいたら徐行し、カウンタウエイトの先端が停止線B内に納まる位置で一旦停止する 6 前後進レバーを中立に入れる	3 停止時の審査基準の詳細は別紙4を参照にすること 4 ブレーキペダルは踏んでいること
8	停止線Bより⑩まで 積 荷 後 進 走 行 ・ 積 荷 前 進 走 行	架 台 ま で の 走 行 1 後方の右の安全を確認する 2 前後進レバーを後進に入れ、後進で⑧まで安全走行し停止する 3 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる 4 前方の左右の安全を確認する 5 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外し前進にて⑩まで安全走行をする 6 架台の手前に来たら徐行運転をする 7 架台の中心線とフォークリフトの中心線を合わせ、ゆっくりと前進する 8 架台の手前で停止する 9 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中心に入れる	1 パレット先端面がフォーク先端基準線の内側にあること (20cm 以内)
9	積付け	1 マストを垂直にする 2 パレットを静かにリフトして止める(パレット下面と架台上面との間隔を10～15cmする) 3 パレット下面と架台上面との間隔の適否を確認する 4 前方の左右の安全を確認する 5 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外し、静かに架台へ前進する 6 パレット端面と架台端面とが一致する位置で停止する 7 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる 8 パレットを静かに架台上に下ろす(フォークはパレットの差し込み口の間で止める) 9 後方の左右の安全を確認し、前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外す	1 マストをティルトしたままリフトしない 2 パレットと架台との接触に注意する 3 走りながらリフトやティルトの操作をしない 4 フォークリフト前輪を架台に接触させない 5 2段取りとする 6 荷の安定を確認する

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項	
	10	フォーク垂直部とパレット端面の間隔が10～20cm 位になるまで後進する	7 フォークを抜くときパレットをこすらないようにする 8 白色テープでマーキングされている（1.20m×1.20m） 9 定位置の枠から出ないようにする 10 荷の安定を確認する 11 フォークがパレットをこすらないようにする 12 フォークの先端がフォーク先端基準線内にあること（20cm 以内） 13 フォークを下降する前にティルトしない	
	11	駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる		
	12	パレット下面と架台上面との間隔が5～10cm になるようにフォークをリフトする		
	13	前方の左右の安全を確認し、前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外す		
	14	定位置（パレットを置く位置）まで前進して停止する		
	15	駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる		
	16	パレットを静かに架台上に下ろす（フォークを差し込み口の間で止める）		
	17	後方の左右の安全を確認する		
	18	前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外し、フォーク先端が架台に接触しない位置まで後進し、停止する		
	19	駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れ、フォークを地上5～10cm になるまで降下する		
	20	マストを一杯にティルト（後傾）する		
10	⑪→⑫ 後 進 走 行 ゴール 停 車 下 車	スタート地点までの走行及び停止と下車		
		1	後方の左右の安全を確認する	1 発進時フォークの高さが高過ぎないか（20cm 超） 2 停止位置不良（前後30cm 以上左右10cm 以上。白線で明示する） 3 飛び降りない 4 左側より降りる
		2	前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外し後進する	
		3	スタート地点で停止する	
		4	駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立にする	
		5	マストを少し前にティルトし、フォークが軽く地面に接触するまで降下する	
		6.	エンジンキーを「OFF」の位置まで回して、エンジンを止め、エンジンキーを抜く	
		7	左側の前後方向の安全を確認する	
		8	左手でヘッドガードの柱（握手）をにぎり、右手は座席の背もたれをもって、ゆっくりと後ろ向きにて下車する	

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項
		9 下車後、両足を揃えて終了の合図をする (注) 計測終了	5 基準時間の5分を越えないように
		10 エンジンキーを審査員に手渡す	